

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	新潟医療福祉大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	新潟
大学全体の総収容定員	4,594名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	リハビリテーション学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、義肢装具自立支援学科、鍼灸健康学科) 医療技術学部(臨床技術学科、視機能科学科、救急救命学科、診療放射線学科) 健康科学部(健康栄養学科、健康スポーツ学科) 看護学部(看護学科) 社会福祉学部(社会福祉学科) 医療経営管理学部(医療情報管理学科)		
事業計画名	新潟医療福祉大学 医療情報経営学部 健康データサイエンス学科 設置計画		

**2. 事業概要**

生成AIの登場など、ビッグデータを活用した技術革新が加速度的に進む中、それらの技術を応用できる知識やノウハウを身につけたデータサイエンススキルを有した人材、データサイエンス人材が果たす役割はますます重要になっている。

政府による「第5期科学技術基本計画(2016年(平成28年)1月)」で謳われた超スマート社会(Society5.0)では、データサイエンスを活用して新しい価値やサービスを創出できる人材の強化を図るとされ「未来投資戦略2018-「Society5.0」「データ駆動型社会」への変革- (2018年(平成30年)6月)、中央教育審議会による「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)(2018年(平成30年)11月)」においてもデータサイエンスの技術を具備した人材の育成が求められている。

データサイエンスの対象となる領域は幅広く、今後は多様なタイプのデータサイエンス人材が数多く必要とされている。本学は、**6学部15学科を有する医療系総合大学**である強みを活かし、既設学科との多様な連携教育を行い、ビッグデータの応用分野として期待されている「健康」「医療」「スポーツ」「福祉」領域等幅広い分野で活躍するデータアナリスト等のデータサイエンス人材を養成する学科として健康データサイエンス学科を設置する。

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和8年度				
認可申請・届出の別	認可申請				
改組内容	既存学部における学科の新設				
設置等組織名	医療情報経営学部健康データサイエンス学科				
設置等組織の学位分野	工学関係	保健衛生学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	新潟県新潟市北区島見町1398番地				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	60名				
他学部等の入学定員の減少数	0名				



事業計画名 新潟医療福祉大学 医療情報経営学部 健康データサイエンス学科 設置計画

基本情報					
改組予定年度	令和8年度(2026年度)	設置等組織名	医療情報経営学部 健康データサイエンス学科	入学定員増数(合計数)	60
所在地	新潟県新潟市北区島見町1398番地	改組内容	既存学部における学科の新設	入学定員減数(合計数)	0

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・「第5期科学技術基本計画(平成28年1月)」で謳われた超スマート社会(Society5.0)ではデータサイエンスを活用して新しい価値やサービスを創出できる人材の育成の強化を図るとされている
- ・「未来投資戦略2018」-「Society5.0」「データ駆動型社会」への変革(平成30年6月)、中央審議会による「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)(平成30年11月)」においてもデータサイエンスの技術を具備した人材の育成が求められている

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- ・6学部15学科を有する医療系総合大学である強みを活かし、既設学科との多様な連携教育を行い、ビッグデータの応用分野として期待されている「健康」「医療」「スポーツ」「福祉」領域等幅広い分野で活躍するデータアナリスト等のデータサイエンス人材を養成する
- ・医療・福祉従事者の不足による「医療AI」ニーズの高まりにより、医療現場では、画像診断支援やビッグデータを活用した診察支援など様々な場面で早期発見・重症化予防・予測医療等での活用が期待されている。本学は医療・福祉・スポーツ施設と連携した「医療AI」の実践的な学びの場の提供を推進し、さらに各施設と連携した「健康」のためのeスポーツ教育・研究の推進する
- ・全13種目のスポーツ強化指定クラブとの連携により、現場でより実践的な「スポーツデータサイエンス」の学びを得ることができる
- ・地域行政や医療および福祉施設や企業と協働したPBL科目を配置し、課題解決に取り組む実践的な学びを得られる環境を整備する。さらに本学の特色である、学科の枠を越えて多職種連携を実践的に学ぶ「連携総合ゼミ」の特徴を活かし、他学科との連携教育をさらに発展させるPBL科目の配置を行う
- ・実務経験のある客員教授等を招聘し特別講義等の科目の配置を行う

<教育内容・育成する人材像>

- ・大学の建学の精神である「優れたQOLサポーターの育成」のもと優れたQOLサポーターに求められる資質・能力を有した人材を育成する
- ・医療系総合大学の強みを活かし、「高校・大学・医療施設」の連携による一貫したキャリア教育を体系化し、**オンリーワンのキャリア教育**を提供する
- ・幅広い教養を身につける教養科目や高度な専門知識・技術を学ぶ専門科目に加え、多職種連携について全学科共通で学ぶ「コアカリキュラム」を設定し、「**連携教育**」を4年間を通して実施する

**STEPS**

Science & Art (科学的知識と技術を活用する力)  
 Teamwork & Leadership (チームワークとリーダーシップ)  
 Empowerment (対象者を支援する力)  
 Problem-solving (問題を解決する力)  
 Self-realization (自己実現意欲)

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・地域のIT企業や医療施設を中心に教育内容について、意見聴取および協議を行うための連携協議会の設置を行う
- ・**医療分野に強みを持つデータサイエンス人材の養成**のため地域の医療機関と協働した連携科目の設置を行う
- ・既に情報学部を設置している開志専門職大学と連携を行いながら科目の整備・実施を行う
- ・包括連携協定を通じてデータ分析を活用した支援やeスポーツ等による交流・取り組みによる施設との連携を行う

<多様な入学者の確保>

- ・本学科女性教員および学生による講演会や説明会の実施を行い、**女子学生向け広報活動の強化**および入学者選抜において、**女子学生受入れのための選抜区分を設ける**
- ・出張講義において複数のラインナップを用意し、データサイエンス分野への興味・関心を高め、理解を深めてもらい、**小・中・高との更なる連携強化を図る**

